

# 主日礼拝

2022年06月19日  
午前10時30分

前奏 「いざ我ら聖霊に願わん」(G.ベーム)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「神よ、わたしの内に清い心を創造し  
新しく確かな霊を授けてください。  
御前からわたしを退けず  
あなたの聖なる霊を取り上げないでください。  
御救いの喜びを再びわたしに味わわせ  
自由の霊によって支えてください。」  
(詩編 51:12~14)

## 頌栄 24 「たたえよ 主の民」



## 交読詩編 69:31~37

司式者：<sup>かみ</sup>神の御名を<sup>さんび</sup>賛美してわたしは<sup>うた</sup>歌い  
みんな：<sup>み</sup>御名を<sup>こくはく</sup>告白して、<sup>かみ</sup>神をあがめます。  
司式者：それは<sup>おうし</sup>雄牛のいけにえよりも  
みんな：<sup>つの</sup>角をもち、<sup>つめ</sup>ひづめの割れた牛よりもなお  
<sup>しゅ</sup>主に<sup>よろこ</sup>喜ばれることでしょう。  
司式者：<sup>ます</sup>貧しい人よ、これを<sup>み</sup>見て<sup>よろこ</sup>喜び<sup>いわ</sup>祝え。  
みんな：<sup>かみ</sup>神を<sup>もと</sup>求める人々には  
<sup>すこ</sup>健やかな<sup>いのち</sup>命が<sup>あた</sup>与えられますように。  
司式者：<sup>しゅ</sup>主は<sup>とほ</sup>乏しい人々に<sup>みみ</sup>耳を<sup>かたむ</sup>傾けてくださいます。  
みんな：<sup>しゅ</sup>主の<sup>たみ</sup>民の<sup>とら</sup>捕われ人らを  
<sup>けつ</sup>決して<sup>おろ</sup>おろそかには<sup>され</sup>されないでしょう。  
司式者：<sup>てん</sup>天よ<sup>ち</sup>地よ、<sup>しゅ</sup>主を<sup>さんび</sup>賛美せよ  
みんな：<sup>うみ</sup>海も、<sup>なか</sup>その中に<sup>うごめ</sup>うごめくものもすべて。  
司式者：<sup>かみ</sup>神は<sup>かなら</sup>必ず<sup>すく</sup>シオンを救い  
<sup>まち</sup>ユダの<sup>さいけん</sup>町々を<sup>また</sup>再建してくださる。  
みんな：<sup>かれ</sup>彼らは<sup>ち</sup>その<sup>す</sup>地に<sup>つ</sup>住み、<sup>ち</sup>その<sup>つ</sup>地を<sup>つ</sup>継ぐ。  
司式者：<sup>しゅ</sup>主の<sup>しもバ</sup>僕らの<sup>しそん</sup>子孫は<sup>しぎょう</sup>そこを<sup>つ</sup>嗣業とし  
みんな：<sup>み</sup>御名を<sup>あい</sup>愛する人々はその<sup>ち</sup>地に<sup>す</sup>住み<sup>つ</sup>着く。

## 祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。アーメン。

## 聖書 使徒言行録 4:13~31

新約(新共同訳)P219~P220

議員や他の者たちは、ペトロとヨハネの大胆な態度を見、しかも二人が無学な普通の人であることを知って驚き、また、イエスと一緒にいた者であるということも分かった。しかし、足をいやしていただいた人がそばに立っているのを見ては、ひと言も言い返せなかった。そこで、二人に議場を去るように命じてから、相談して、言った。「あの者たちをどうしたらよいただろう。彼らが行った目覚ましいしるしは、エルサレムに住むすべての人に知れ渡っており、それを否定することはできない。しかし、このことがこれ以上民衆の間に広まらないように、今後あの名によってだれにも話すなど脅しておこう。」そして、二人を呼び戻し、決してイエスの名によって話したり、教えたりしないようにと命令した。しかし、ペトロとヨハネは答えた。「神に従わないであなたがたに従うことが、神の前に正しいかどうか、考えてください。わたしたちは、見たことや聞いたことを話さないではいられないのです。」議員や他の者たちは、二人を更に脅してから釈放した。皆の者がこの出来事について神を賛美していたので、民衆を恐れて、どう処罰してよいか分からなかったからである。このしるしによっていやしていただいた人は、四十歳を過ぎていた。さて二人は、釈放されると仲間のところへ行き、祭司長たちや長老たちの言ったことを残らず話した。これを聞いた人たちは心を一にし、神に向かって声をあげて言った。「主よ、あなたは天と地と海と、そして、そこにあるすべてのものを造られた方です。あなたの僕であり、また、わたしたちの父であるダビデの口を通し、あなたは聖霊によってこうお告げになりました。

『なぜ、異邦人は騒ぎ立ち、  
諸国の民はむなしいことを企てるのか。  
地上の王たちはこそって立ち上がり、  
指導者たちは団結して、  
主とそのメシアに逆らう。』

事実、この都でヘロデとポンティオ・ピラトは、異邦人やイスラエルの民と一緒にあって、あなたが油を注がれた聖なる僕イエスに逆らいました。そして、実現するようにと御手と御心によってあらかじめ定められていたことを、すべて行ったのです。主よ、今こそ彼らの脅しに目を留め、あなたの僕たちが、思い切って大胆に御言葉を語るができるようにしてください。どうか、御手を伸ばし聖なる僕イエスの名によって、病気がいやされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。」祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語りだした。

### 賛美 347(1,4,5)「たたえよ、聖霊を」

Praise the Spirit in creation  
詞：Michael Hewlett, 1914— JULION  
曲：David Hurd, 1950—

① たたえよ、聖霊を、神のいぶきを。  
水面を動かす 力の霊を。  
すべてにいのちを 与える霊を。  
2. たたえよ、聖霊を、共なる霊を。  
神秘のみわざを われらに示し  
静かにささやく み声で語る。  
3. たたえよ、聖霊を、かくれた真理。  
主イエスが現す カと愛は  
まだ見ぬわれらに み神を示す。

④ たたえよ、聖霊を、吹きおろす風。  
天にあげられた 主の約束は。  
み民を強めて 世界を変えた。  
⑤ たたえよ、聖霊を、われらは祈る。  
炎で 心を燃やしてください。  
光をかかげて 世を照らすまで。  
6. たたえよ、み神よ、基なる父、  
真理の言の み子なる主イエス、  
われらを導く 霊なる神を。

### 説教 「仲間と共に語る」

### 賛美 521(1,2,4)「とらえたまえ、われらを」

Take Thou our minds, dear Lord HALL  
詞：William H. Foulkes, 1877—1961 曲：Calvin W. Laufer, 1874—1938

とらえ たまえ、われら を。  
主よ、みこころ しめし て、  
ひびま こと を おしえ て、  
は なち たまえ、つ みより。

- ① とらえたまえ、われらを。 ③ とらえたまえ、われらを  
主よ、みこころしめして、 み手のうちに 守りて  
日々 真理をおしえて、 全き道に みちびき、  
はなちたまえ、罪より。 行かせたまえ、わが主よ
- ② とらえたまえ、われらを。 ④ とらえたまえ、われらを  
宿りたまえ、われらに。 満たしたまえ、聖霊を  
とわの愛を注ぎて わがすべてを ささげて  
地をみ国としたまえ。 主のみ旨に 従わん。

### 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

### 祝祷

### アーメン

アーメン アーメン アーメン

### 後奏 「父なる神よ、我らと共に住みたまえ」 (O.オルソン)

司式 大代 恵  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。